

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元の HP などでご確認ください。

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団 令和 8 年度 研究等助成募集のお知らせ

〔研究助成〕助成対象：食品添加物の安全性 有用性 品質等食品化学に関する調査研究等。助成金額：1 件 50～150 万円（令和 7 年度助成件数 17 件）。〔シンポジウム等開催助成（前期）〕助成対象：令和 8 年 4 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日までの間に開催される食品化学に関するシンポジウム等。助成金額：1 件 15～50

万円。〔応募資格〕本邦の大学、研究機関等において研究活動等に従事している者。〔募集期間〕令和 7 年 11 月 15 日（土）～令和 8 年 1 月 10 日（土）〔必着〕。募集要項および申請用紙の入手：財団 HP（<https://www.focr.or.jp>）より入手をお願いします。

2026 年度 ガラス基礎研究振興プログラム （応募締切：2025 年 12 月 12 日 （事務局必着））

ガラス産業連合会と（一社）ニュー

ガラスフォーラムは、短期的な視点に捉われずにガラス分野の発展に貢献する可能性を秘めた研究提案をしていただいた若手の研究者に対して研究助成を行います。対象は、高専、大学および公的研究機関に所属する個人またはグループで、主たる研究者が 1981 年 4 月 2 日以降生まれであること（45 歳以下）。コース別募集：エキスパートコース；ガラスの分野で研究されてきた方で、これまでの研究の中で芽生えた新しい問題意識を掘り下げるために、自身の今までの研究手法とは異なる方法でガラスの研究に取り組もうとするもの。チャレンジコース；ガラス以外の科学・工学の分野で研究されてきた方で、これまでの研究で養った知見をガラスに適用することでガラスの研究に新しい視点を導入し、それと同時に自らの研究の適用範囲をガラスの分野にも広げようとするもの。1 件あたりの研究助成額は、300～900 万円/3 年間一括供与で、研究内容に応じて設定して下さい。研究期間は 2026 年 4 月からの 3 年間です。総採択数は 2～5 件。詳細は HP（<https://www.newglass.jp/kenkyu/2026/>）をご参照下さい。

第 15 回 新化学技術研究奨励賞 研究助成テーマの公募

公益社団法人新化学技術推進協会では、産学官交流連携活動の一環として、化学産業界が必要とする研究課題を設定し、その実現に貢献することができる若手研究者の独創的な萌芽的研究テーマを発掘・奨励するために、新化学技術研究奨励賞を設けています。奮ってご応募下さい。募集課題：全 13 課題・応募資格：国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事する方で、2025 年 4 月 1 日時点で満 40 歳未満の方。ただし、ライフイベント等による研究中断があった場合、それを考慮いたします。募集期間：2025 年 12 月 5 日（金）～2026 年 2 月 5 日（木）。選考件数：各募集課題につき原則として 1 件・助成金：1 件につき 100 万円。応募方法：HP（https://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_15_2026.html）を参照。問合せ：公益社団法人新化学技術推進協会（JACI）電話（03）6272-6880 E-mail: jaciaward15@jaci.or.jp

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ①“掲示板”欄への掲載申込みは、本会会員を対象とした化学に関連する内容に限りします。
- ②掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③同一原稿の掲載は 1 回に限りします。
- ④講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ①原稿は 600 字以内で作成して下さい（英文は和文の 0.55 字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ②掲載例として本会ホームページに最新号の PDF 版を公開しております。<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。
- ②専用フォーマット使用方法
 - A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保證されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。
【使用できない文字例】
 - ・半角カナ；ｱｶﾀﾅ, 記号（約物）；.,. [（./ 等
 - ・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ, 丸数字；①②③④
 - C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避け

て下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML 形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P$ ²
・下付； $CO_2 \rightarrow CO$ ₂
・イタリック；*italic* → <I> italic </I>

- ③原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。
- ④投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑤投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑥送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ①原稿締切日（当月 25 日）まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mail にて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑦問合せ

【投稿に関する問合せ】
日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp
【修正に関する問合せ】
三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話（03）6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp